

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校2年生

国語

C1 発表や話し合い

児童生徒

2 概要

国語「お手紙」の音読劇発表会の練習において、自分のグループの発表が見ている人からはどのように見えているのかを客観的に考えさせるために、自分の発表を動画に撮らせる。動画を見ながら、班でよりよくするにはどうしたらよいかを考え、ノートにまとめる。

単元(題材)名

そうぞうしたことを、音読げきであらわそう「お手紙」

単元(題材)目標

語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読をすることができる。場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

活用したICT機器、アプリケーション等

タブレット動画機能

本時のめあて

音読劇を動画に撮り、よりよくする工夫を考えよう。

写真・記録



本時の展開の概要

- ①練習した音読劇を他のグループの友達に撮影してもらう。
- ②自分たちの発表を見て、よいところ・もっと工夫できるところに気づく。
- ③話し合ったことをノートにまとめる。
- ④気付いたことをいかして練習をする。

ICT機器の活用でねらった効果

- ・自分の動きを自分で見て、改善策を考える。

児童生徒の様子(成果や課題)

他の班の発表と声が重なり、聞こえづらい面もあったようだが、「もっと声を大きくしたい。」「動きが見えづらかったから、大きく手を動かしたい。」などの気づきから、練習の様子が変化したグループもあった。

狭山市立柏原小学校 名前: